



Consulado Geral do Japão
em Curitiba

平成30年度日本国政府外務省外務大臣表彰授章式・祝賀会の実施

平成31年3月30日、平成30年度外務大臣表彰授章式・祝賀会が総領事公邸において実施され、合計2名の方々が受章されました。長年にわたり日系人の地位向上及び日伯間の相互理解の促進、友好親善に寄与しその功績が認められたものです。

山本 和憲氏（ラーモス日伯文化協会顧問）

功績：サンタカタリーナ州ラーモス入植地において日本の果樹園のノウハウを導入し高品質の果実を生産することに成功し、日本人の名声を高めました。ラーモス日伯文化協会が祭りを開催する際に日本文化紹介の拠点となっている八角堂建設発案者で、祭りの運営のみならず茶道の紹介を行うなど、日本の伝統文化の維持・普及及び日系人の地位向上に貢献されています。

エリジオ・ヨシカズ シンザト（新里 エリジオ義和）氏（サンタカタリーナ日系協会連盟監査顧問及びニッポ・カタリネンセ相談役）

功績：ニッポ・カタリネンセ会長時代には日本文化紹介事業の先駆けとしての役割を果たされブラジル人へ日本の魅力を伝える活動に尽力されました。サンタカタリーナ日系協会連盟の創立にも積極的にかかわられたほか、同連盟では州内の日系団体の活動を通じた日本文化普及のみならず、日系人の地位向上及び日本とサンタカタリーナ州の更なる友好関係の強化に尽力されています。



山本氏とご家族及び友人、右木村総領事夫妻



シンザト氏とご家族及び友人

表彰式で、木村総領事は今回のお二人の受章は長年に亘る貢献に基づくもので大きな価値があると述べました。特別参加として乾杯の挨拶を述べた千葉科学大学東（あずま）副学長は、今後我々にとって国の発展に貢献する有能な人物をどうやったら輩出出来るのかが大きな問いであると述べた上で、受章者のような人物が模範例となるものと確信すると述べられました。